

サークル活動完了報告書

サークル名	OP バッグ作成委員		発表者	酒井 由伊
			リーダー	酒井 由伊
部署	4階東病棟		サブリーダー	
活動期間	開始：平成23年5月1日		メンバー	酒井 由伊 小田 さつき
	終了：平成23年12月1日			
会合状況	会合回数 _____ 回			
	1回あたりの会合時間 _____ 分			
所属長/推進メンバー	飯崎 師長	所見欄		
レビュー担当者				

テーマ

OP 用バッグ作成することで2階病棟への転棟・転入をスムーズに行う。

テーマ選定理由

4階東病棟から2階病棟に転出時、患者様の荷物がまとまらない
 必要な物品と不必要な物品の選別が難しい
 複数の荷物を持って行くことで紛失も予防でき、専用バックを使用することで看護師もスムーズに搬送することができる。

現状把握

入院時は4東病棟でも手術後に2階病棟に転出することを知らず4東病棟に入院した時が全体の7割をしめる。実際に2階病棟への必要物品準備は手術前日に取りかかるが45%、当日が27%、2日前が13%、3日前が10%、入院前が7%と前日になってから準備することが多い。入院時持参するバッグの数は1個が44%、2個が34%、3個が13%、0個が9%となり、2階病棟に行く際必要な鞆がないといわれる方が多い。また購入した物品の中には手術時に不必要になったものがある。

目標設定

患者様からの術前必要物品準備についての苦情を0%にする。

要因解析

入院前(外来通院時)に2階病棟転出について患者が知っていたかたと訴え多かったが、現時点で他部署との連携の都合もあり、困難。高齢者の家族が多く必要物品を準備することが難しい。看護師の説明が手術前日になることが多い。

対策立案

2階病棟転出時に専用バッグの作成・看護師の説明の統一

対策実施

実際に OP バッグを使用する/手術必要物品特に購入物品に対しては患者と相談し購入するようにした。

効果確認

実際に OP バックを使用した患者に聞き取りアンケートを行い、苦情は特になし。

標準化

まとめと今後の課題

OP バッグのサイズの検討、清潔面、回収23